

---

# 友達な関係？

神童サーガ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

友達な関係？

### 【NZコード】

N4384F

### 【作者名】

神童サーガ

### 【あらすじ】

想いは伝わつたら幸せになれるのか？鈍感な一人の短編

「い～ひつひつひ」

「キモー」

変な笑い声を上げた少年に、冷たく切り捨てた少女。

「ヒドいよ～…！…鈴…」

「…・・はあ、どうしたの？永海」

少年の名前は、永海<sup>ナミ</sup>で、少女の名前は、鈴<sup>スズ</sup>

「なんか、たまにさあ叫びたくなりふつてあるよね？」

「アレは叫びか？奇妙な笑い声だ！」

ナミの笑い声は、魔法使いのお婆さんみたいで恐い。

「口調怖いよ～スズ」

「ナリの笑い声の方が怖い」

スズの言葉に、ムスースと怒ったナリ。

「ナリ、いえば、スズって知られたよね？また」

「ナリだつて……」

「スズは、女の子からもじやん……」

ズルイよお、ヒヤつたナリ。

果たしてこれは、どちらの感情なのか？

「（僕の方がスズのこと知ってるの）」

「（ナリって鈍感だから、私の気持ちなんて分らないよなあ）」

まあ、なんと……両思いみたいですね。

「（ナリからいえば、スズも鈍感なので、叶ひ」とはあるのか分りません。

「前に、スズ……好きな人がいるって言つてたよね？」

「……ナミも」

一人は、あれ？ そうだったけ？ と思った。

忘れたみたいだ。お互いが好きだからこそ、言い張つてしまつた。嫉妬の対象は、相手の想い人だと思ったら、自分だった。

「ほらつ、野球部のエースがスズに好意を抱いてたつて……学校で、一・一を争うイケメン君」

「吹奏楽部のフルートの子……学校で美少女って言われる」

虚しくなるだけなのに、宣伝してゐる一人。

なぜ自分を、宣伝しないのか？

自分より、話したことの無い人が、似合つとも思つてゐるのか？

「小さい頃からナミを知つてたけど、誰なんだろう？ 私の知らない人かな……」

「僕だって、スズを知つてたけど、こればかりは分らない

「小さい頃からナミを知つてたけど、誰なんだろう？ 私の知らない人かな……」

それは、考えるだけ無駄なこと。

鈍感な一人が考へても、地球が何億周しても分らないだろう。

「まあ、例え誰かと付き合つても仲良くなつづく。」

「…………うん。幼馴染みだしね」

結局諦めてしまった二人。

鈍感な二人、くつつくと意味不明な会話になつてしまつようだ。  
この二人が、付き合つ口はくるのだろうか…?

オマケ

「はいっカット…！」

お疲れ様でした～、と言つた二人。

監督は、やっぱ一人は良いねー、と言つた。

「まあ、実際付き合つてるしね」

「そうね。でも、たまには「いつのもの良いね。ナニ君が更に好きになつたもの」

「僕もだよ。スズちゃんが大好きになつた」

人目を憚らず抱き合つ一人。

監督は、またか、と呆れた声を出す。

こんな終わりもたまには、良いんじやない?  
要素は恋愛じゃなくバラエティだし。  
でも、実際に愛し合つてたのは驚きました。

(後書き)

まあ、たまにはいつこう終わるもんかよ。ドラマだったら楽しむかな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4384f/>

---

友達な関係？

2010年12月9日14時56分発行